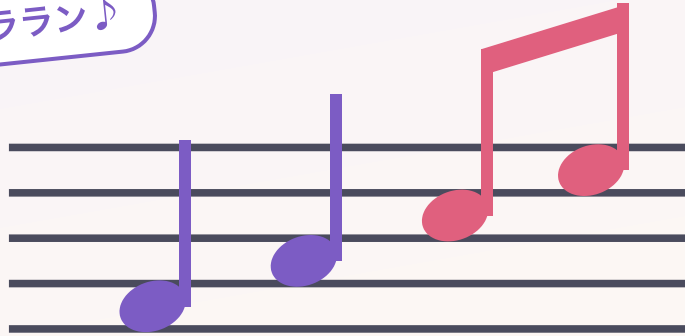


タララン♪



きれいに整っている！

古典派

整った美しさが生まれた音楽の時代



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

古典派の入り口	3～7
古典派のしくみ	8～9
弦楽器と鍵盤	10～15
古典派を聴く	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

古典派とは

古典派は、バロックのあとに続く、音楽の大きな時代です。

古典派とは、**およそ1750年から1820年ごろ**まで続いた、ヨーロッパの音楽の時代です。

かざりの多いバロックとちがい、すっきりと整った、わかりやすいメロディが好まれるようになりました。ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンが活やくした時代です。



古典派時代のできごと

交響曲の形が整う

弦楽四重奏の発展

ピアノの広がり

オペラの傑作

「古典派」という名前は、のちの時代の人々が「お手本のように整った音楽」として呼んだことから来ています。

ポイント

- この時代のあとに、「ロマン派」とよばれる時代が続きます。
- 3人の作曲家の名前は、今もコンサートでよく耳にします。

やってみよう

1. ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェン、聞いたことがある名前がありますか。

書いて覚えよう

古典派の特徴

古典派の音楽には、はっきりとした共通の特徴があります。

バロック

かざり豊かで複雑

旋律が重なり合う

対位法が中心

強弱は段差で変化

テラス・ダイナミクス

古典派

すっきりと整理された

主旋律＋伴奏

メロディが主役

強弱がなめらかに変化

だんだん大きく・小さく

ポイント

- 1つの旋律を、伴奏がささえる形が中心になります。
- フレーズの長さがそろい、聴きやすくバランスの良い音楽になりました。

やってみよう

1. バロックと古典派、どちらの音がより聴きなれていますか。 _____

書いて覚えよう

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン

Haydn (1732~1809)

オーストリアの作曲家。「交響曲の父」とよばれる



Ken

ハイドンは、交響曲をたくさん書いた人なんだね。

Emma

貴族のお屋敷で長く働きながら、今の交響曲の形を整えたんだよ。



ポイント

- エステルハージ家という貴族に長く仕え、たくさんの作品を作曲しました。
- モーツァルトやベートーヴェンにも影響をあたえました。

やってみよう

1. 「～の父」とよばれる人物を、ほかに知っていますか。

書いて覚えよう

幼いころから才能を発揮した、古典派を代表する作曲家です。

Mozart (1756~1791)

オーストリアの作曲家。交響曲・オペラ・協奏曲など幅広い分野で作品を残した

- 幼いころから作曲を始め、ヨーロッパ各地で演奏の旅をしました。
- オペラから宗教音楽まで、あらゆる分野の作品を書きました。
- 美しく歌うような旋律が、大きな魅力のひとつです。

1. モーツァルトの曲を1曲、探して聴いてみよう。

ベートーヴェン

古典派からロマン派へ、時代の橋わたしをした作曲家です。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Beethoven (1770~1827)

ドイツの作曲家。9つの交響曲などを残した

ベートーヴェンの生きかた

作曲家として活やくする中で、しだいに耳が聞こえにくくなっていきました。それでも作曲を続け、力強く感情豊かな作品を数多く残しています。

ポイント

- 古典派の整った形を受けつぎながら、より個人の感情を強く表現しました。
- この個人の感情を大切にする姿勢が、次のロマン派へつながっていきます。

やってみよう

1. ベートーヴェンについて、印象に残ったことを書こう。

書いて覚えよう

ソナタ形式

古典派の曲によく使われる、しっかりした組み立てのしくみです。

テーマ（動機）の一例



こうした短いテーマ（動機）が、曲の中でくり返され、育っていきます。

ソナタ形式

sonata form

提示部・展開部・再現部からなる、古典派に多い曲の組み立て

ポイント

- まず2つの対照的なテーマが「提示」され、次に「展開」されて変化します。
- 最後にテーマがもう一度「再現」され、曲がまとまります。

やってみよう

1. 上のリズムを、手拍子で3回くり返してみよう。

書いて覚えよう

小さな編成の室内楽と、新しい鍵盤楽器が発展しました。

string quartet

バイオリン2本・ビオラ・チェロの4人による演奏

fortepiano / ピアノ

強弱をつけて弾ける、古典派に広まった鍵盤楽器

- ハイドンは弦楽四重奏の形を整え、「弦楽四重奏の父」ともよばれます。
- ピアノはチェンバロとちがい、指の力で音の強弱を変えられます。

1. 4人だけの演奏と、大きなオーケストラ、それぞれの良さを想像してみよう。

オペラの名作

モーツァルトは、心に残るオペラも数多く残しました。

フィガロの結婚

身分をこえた人間関係をえがく喜劇

魔笛

ふしぎな冒険をえがく、歌芝居

ドン・ジョヴァンニ

ゆかいさとおそろしさが同居する物語

ポイント

- 会話のような部分（レチタティーヴォ）と歌の部分を組み合わせて物語が進みます。
- 登場人物の性格が、音楽の旋律にもよく表れています。

やってみよう

1. 3つのオペラのうち、あらすじが気になったのは？

書いて覚えよう

明るくわかりやすい音楽

古典派の魅力のひとつは、聴きやすい親しみやすさです。

ポイント

- フレーズの長さがそろっていて、次の展開が予想しやすい音楽です。
- 耳に残りやすい、歌うようなメロディが多く書かれました。
- 初めて聴く人にも受け入れられやすい、親しみやすさがあります。

やってみよう

1. 「わかりやすい音楽」と聞いて、どんな曲を思いうかべますか。

ワンポイント 古典派の交響曲は、はじめてクラシック音楽を聴く人にもおすすめされることが多いジャンルです。

書いて覚えよう

形式の美しさ

バランスの取れた組み立てが、古典派の美しさの中心です。

ポイント

- 曲全体が、対称や均整のとれた組み立てでつくられています。
- テーマとテーマの対比が、はっきりとわかりやすい形で示されます。
- この「整った形」の考え方が、のちの音楽にも受けつがれていきます。

やってみよう

1. 整理整頓された部屋と、ものが多い部屋。どちらが音楽の古典派に近いと思いますか。

書いて覚えよう

交響曲第5番（通称「運命」）は、短い4つの音のモチーフが曲全体を貫くことで有名です。第9番（通称「合唱」）は、最後の楽章に合唱が加わる大きな作品です。

ポイント

- ベートーヴェンの交響曲は、力強さと感情の深さが大きな特ちょうです。
- 1つのテーマを曲全体で育てていく手法が、多くの作品に見られます。

やってみよう

1. 交響曲第5番の始まりの4つの音を、口ずさんでみよう。

書いて覚えよう

幼いころから、その才能はよく知られていました。

piano sonata

ピアノひとりで演奏する、ソナタ形式をもつ曲

- 家庭でも演奏されるようになり、ピアノ曲がたくさん作曲されました。
- ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンは、いずれも多くのピアノソナタを残しています。

1. ピアノの曲を聴いたことがあれば、どんな印象だったか書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 古典派 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

- 晩年のベートーヴェンの作品は、より自由で個人的な表現に近づいていきます。
- 整った形式よりも、感情の動きを重視する流れが強くなっていきます。
- この流れが、次の「ロマン派」の時代へとつながっていきます。

1. 「感情を音楽で表す」としたら、どんな気持ちを表したいですか。

18

明るく親しみやすい旋律がよく使われ
る

ピアノソナタが多く演奏される

交響曲の形を学ぶ基本になっている

モーツァルトの、切なく美しい旋律の
交響曲

ベートーヴェンの交響曲第5番の通称

モーツァルトの、明るくはずむピアノ曲

ポイント

- 古典派の音楽は、200年以上たった今も世界中で演奏されています。
- 名曲めぐりの中から、気になる1曲を見つけてみましょう。

やってみよう

1. 上の6つのうち、聴いてみたいものを1つえらぼう。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

2つの古典派の曲をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	曲A	曲B
速さ	速い・ふつう・ゆっくり	速い・ふつう・ゆっくり
主旋律の印象	明るい・おだやか・力強い	明るい・おだやか・力強い
編成	オーケストラ・室内楽・独奏	オーケストラ・室内楽・独奏
感じ	_____	_____

ポイント

- 同じ作曲家の曲どうしをくらべると、共通する特徴を見つけやすくなります。
- 主旋律を口ずさめるかどうか、聴きくらのよいヒントです。

やってみよう

1. ハイドンの曲と、ベートーヴェンの曲を1曲ずつえらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

短いテーマを育てていく感覚を、体で体験しよう。

A (短いリズムを手拍子で) タン・タン・タン・ウン

B (そのままくり返す) タン・タン・タン・ウン

A (少し変化させる) タン・タン・タタン・ウン

B (まねして) _____

A (さらに変化させる) _____

B (自由に発展させる) 自分で考えて手をたたく

ポイント

- 1つの短いリズム（テーマ）を、少しずつ変化させていく遊びです。
- ベートーヴェンが得意とした「テーマを育てる」手法の入り口になります。

ワンポイント 短いテーマほど、いろいろな形に変化させやすくなります。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

曲が長く感じられても、コツをつかめば聴きやすくなります。

つまずき

よくあること

曲の構成がわからない

どこで場面が変わったか迷う

作曲家の名前が覚えられない

似た時代の人が多い

コツ

こうしてみよう

楽章の変わり目に注目する

速さや雰囲気の変化を聴く

代表作を1曲ずつ覚える

名前と曲を結びつける

ポイント

- 「全部を理解しよう」とせず、まず1つのテーマを覚えることから始めましょう。
- 何度も聴くうちに、曲の組み立てが自然に見えてきます。

やってみよう

1. 3人の作曲家のうち、名前と代表作を1つ結びつけて書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

作曲家

☐ ハイドン

交響曲の父とよばれる

☐ モーツァルト

幼いころから活やくした天才

☐ ベートーヴェン

古典派とロマン派の橋わたし

しくみ

☐ ソナタ形式

提示・展開・再現からなる形

☐ 弦楽四重奏

バイオリン2・ビオラ・チェロの編成

楽器

☐ ピアノフォルテ

強弱をつけられる鍵盤楽器

音楽の形

☐ 交響曲

4つの楽章からなる大きな曲

☐ オペラ

歌で物語を演じる音楽劇

☐ ピアノソナタ

ピアノひとりで演奏する曲

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、古典派の曲がもっと聴きやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|-------------------------|
| ソナタ形式 | ● | ● ア. 4つの楽章からなる大きな曲 |
| 弦楽四重奏 | ● | ● イ. 提示・展開・再現からなる曲の組み立て |
| 交響曲 | ● | ● ウ. ピアノひとりで演奏する曲 |
| オペラ | ● | ● エ. バイオリン2・ビオラ・チェロの編成 |
| ピアノソナタ | ● | ● オ. 歌で物語を演じる音楽劇 |

2. 古典派を代表する3人の作曲家を書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 提示・展開・再現からなる形 → (ソナタ形式 / 通奏低音)
2. バイオリン2・ビオラ・チェロの編成 → (弦楽四重奏 / オーケストラ)

書いて覚えよう

古典派の曲を1曲、聴いて1日をスタート

主旋律を口ずさんでみる

短いリズムをつくって発展させる

気に入った作曲家を1人書き出す

聴いた曲の感想をノートに書く

家族にベートーヴェンの交響曲を紹介
する

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 同じ曲を何度も聴くと、曲の組み立てが自然に見えてきます。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

好きな古典派の曲を、人に伝えてみよう。

曲名

作曲家

好きなところ

編成

聴いてほしい人

Ken の例

曲名 交響曲第5番「運命」／作曲家 ベートーヴェン／好きなところ 始まりの力強いリズム／編成
オーケストラ／聴いてほしい人 力を出したいときの友だち

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

古典派の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

オペラの一場面をじっくり見る

図書館で

作曲家の伝記を借りてみる

演奏会へ

交響曲の演奏会をさがす

次のステップ

ロマン派

古典派の次の時代を知る

交響曲

1曲を最初から最後まで聴く

ピアノ曲

ソナタをじっくり聴きこむ

ポイント

- この教材の次は「ロマン派」。感情がより自由に表現される時代へ進みます。

書いて覚えよう

古典派チャレンジ

教室の外でも、古典派の響きはすぐに楽しめます。

見つけよう

街やお店で流れている古典派風の曲をさがす

聴こう

交響曲の楽章が変わる瞬間に耳をさせる

表そう

短いリズムをつくって少しずつ変化させる

こたえ

L26 ソナタ形式→イ 弦楽四重奏→エ 交響曲→ア オペラ→オ ピアノソナタ→ウ 2. ハイドン / モーツァルト / ベートーヴェン
3. ソナタ形式 / 弦楽四重奏

L33 (例) 古典派は、1750～1820年ごろの、整ったわかりやすさが特ちょうの音楽の時代。

書いて覚えよう

古典派 (Season 6 | No.54)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。